学校だより
笑顔 本小っ子Ⅲ
８月号⑤
2025.8.29(金)
文責　本宮小校長　佐久間仁

国内派遣交流事業報告会

〔参加児童の発表〕

◇（一日目）まず、富良野市役所に行き、富良野市の魅力を教えてもらいました。そして、夜開催される「へそ祭り」に参加するため、踊りもレクチャーしてもらいました。本番では、最初緊張してうまく踊れなかったけれど、段々緊張がほぐれ、うまく踊れるようになりました。楽しかったです。

（二日目）ラフティングを体験しました。扇山小学校と交流して、一緒にラフティング体験をしました。まず、やり方を教えてもらいました。コースは、六キロの川。迎えた本番。扇山小学校の子と協力して無事に六キロを渡れました。

（三日目）早朝、熱気球を体験しました。最初、熱気球が昇っている時、風で少し揺れてとても怖かったけれど、頂上に昇った時には、怖さもなく、とても楽しかったです。太陽が昇ってくる景色が絶景でした。〔結翔〕

◇私が富良野市に行って学んだことは、三つあります。

一つ目は、自然がたくさんあることです。富良野市はラベンダー畑が有名で、一月の初めにラベンダー祭りが行われます。ロープウェーがあり、秋には紅葉が眺められます。ラフティングで行った空知川は魚がたくさんいて、すごく綺麗な川でした。千歳水族館では、珍しい魚や動物がたくさんいました。富良野市は、スキーも有名で、パウダースノーを求め、海外からの観光客もたくさん来るそうです。バスで移動した時、キツネとシカがいました。

二つ目は、方言がたくさんあることです。例えば、

- 「なんも」大丈夫、いいよ。
- 「いずい」違和感がある。
- 「とうきび」とうもろこし
- 「ゆるくない」楽じゃない。
- 「はんかくさい」みっともない。

などがあります。

また、地名も珍しい地名がありました。

- 「占冠（しむかっぷ）」
- 「シソラプチ」（空知川の別名）

このような珍しい地名は、アイヌ語という言葉だそうです。北海道の地名はほとんどアイヌ語から来ているので、漢字の読み方がとても難しいです。

三つ目は、気候のことです。富良野市の気候は、夏の最高気温が三十五度、冬の最低気温がマイナス二十五度で六十度の差があります。昼温かく夜寒い気候のおかげで、ほとんどの農産物を作ることができるそうです。特に、加工品、ワイン、チーズ、ドレッシング、ジャムが多いそうです。〔莉望〕

◇（一日目）富良野市に着いてすぐに富良野市のことを教えてもらう研修会がありました。富良野市は気温の寒暖差で、農業がさかんだということが分かりました。観光地や季節ごとの楽しみも教えてもらい、富良野市のことを知ることができました。夜にはへそ踊りもあり、おなかに顔を描いている人たちが何人もいて、とてもにぎやかで楽しかったです。

（二日目）扇山小学校の児童との交流でした。ラフティングで体勢を崩さないように協力したことや、魅力クイズで各小学校、本宮市の魅力を伝え、知ってもらえてうれしいと感じました。その後は、アイスクリーム作り体験でアイスを作ったり、麗郷（ろくごう）展望台でラベンダー畑をながめました。時期が過ぎていたけれど、景色が広がっていてよいながめだと思いました。

（三日目）朝、熱気球体験をしました。自分の頭の真上で炎が出ていて少し熱かったけれど、高くなるにつれて、スリルがあってとてもワクワクしました。次に、サケのふるさと千歳水族館に行きました。サケのことがよく分かるコーナーでは、卵の採取の仕方やサケの成長過程を知ることができました。体験コーナーでは、ドクターフィッシュの体験ができました。色々な魚のことを知ることができて、勉強になりました。〔明日香〕

栄光を讃えて

〔第七十八回小中学校音楽祭（合唱）〕

【奨励賞】本宮小学校

〔第七十回福島県たなばた展〕

【奨励賞】六年　菅野　詩

【特選】一年　遠藤楓子　安部衣月
二年　大野葵偉
三年　秋田　律　加藤彩希
四年　糠澤結衣
五年　國分心晴　遠藤悠馬

※後日、表彰式を行う予定です。この他にも金賞、銀賞に入賞した皆さんがいます。入賞おめでとうございます。